

人生に失敗など存在しない

今の一当は昔の百不当の力なり、百不当の一老なり。

【お寺の掲示板 52】 浄土真宗本願寺派僧侶 江田智昭



【莊嚴寺（山口）さんの掲示板】

キングコングの西野亮廣さんが、大学の卒業式で話された言葉

『・・・挑戦にはネガティブな結果がつきもの。でも大丈夫。その結果は、まもなく過去になり、そして僕らは過去を変えることができる。失敗は、その瞬間に止めてしまうから失敗なのであって、失敗を受け入れて、アップデートして、試行錯誤して、成功まで続けてしまえば、あの日の失敗が必要であったことを知る。つまり、理論上、この世界に失敗なんて存在しないって話。・・・』

道元禅師が書かれた『正法眼蔵 説心説性の巻』の中に、「今の一当は昔の百不当の力なり、百不当の一老なり」という言葉があります。

「百不当」とは、例えて言えば弓的を射ることです。弓的を射ようとしても一向に当たりません。百回やって百回とも当たらないのです。しかし、その当たらない矢をあきらめずに何本も放って修練を積むうちに、その修練の力によってやがて当たるようになるのです。その的を打ち抜いた矢、つまり一当は、それまでの「百不当の力」であり、「百不当の一老」、「百不当の蓄積」であります。（中略）努力に比例して成果が上がれば問題は簡単ですが、努力しても成果が上がらない。そこで止めてしまえば「骨折り損のくたびれ儲け」で終わってしまうこととなります。そうではなくて、一見無駄と思えることでも努力を続けていくと、その無駄が全部生きていて、予想外の成果を上げることができるようになるものです。これが「百不当の一老」ということです。

世の中に無駄な失敗などはないと理屈では分かっているけども、失敗を重ね続けることは難しい。その大きな要因はどうしても他人の目を気にしてしまうからではないでしょうか。失敗をしたら、他人から笑われるのではないかと周囲を気にしてしまい、挑戦を断念してしまう。

アドラー心理学では、「人間の悩みはすべて対人関係の悩みである」とし、他者の問題を切り離して考えるようにすすめます。以前、仏教は「いま、ここ、自分」が大きなテーマと申しましたが、そのポイントに集中することができていれば、失敗を重ねても大きな心の負担にはなりません。

エジソンの名言に、「私は失敗したことがない。ただ1万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ」というものがあります。このようなポジティブな思考で挑戦し続けることができれば、きっと「一当」にたどりつくのだと思います。